

課題別研修

「インフラ施設(河川・道路・港湾)災害対策とマネジメント」コース

研修概要

インフラ施設(河川・道路・港湾)の整備・維持管理を適切に行うためには、自然災害のリスクを計画策定段階で考慮し、適切な整備や維持管理を実施する必要があります。

本コースは、各国でインフラ施設の災害対策に携わるエンジニアを研修員として招へいしています。

地震や風水害など様々な自然災害に対し、河川・道路・港湾のインフラ施設のリスク管理を行うことにより、災害被害を抑止・軽減する日本の対策技術やマネジメント手法を研修員に紹介することで、各国の災害対策強化に貢献しています。



六甲砂防見学の様子

研修内容の一例

- ・日本の自然災害、自国の自然災害の類似性・相違点
- ・国、都道府県、地方自治体の防災関連政策、地域防災計画、災害に強いまちづくり計画
- ・災害の予警報システム、情報伝達システム、ハザードマップ作成、洪水予測モデル演習
- ・災害対策事業(整備・維持・管理、マネジメント等)、河川改修事業(河川・ダム)、砂防事業(砂防・地すべり対策等)、道路事業(道路・橋梁)、海岸事業(海岸・港湾)